

国史跡桜京古墳整備基本計画

平成24年3月

宗像市教育委員会

序 文

本市では「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録に向け、福岡県、福津市と共同で学術会議やシンポジウム、市民協働事業などを進めております。平成21年1月にはユネスコの世界遺産暫定リストに掲載され、本登録へ向けた調査や研究、啓発事業が加速しているところです。

このような取り組みの中、史跡整備計画を進めている桜京古墳は、市内を貫流する釣川河口の丘陵上に分布するおよそ200基からなる牟田尻古墳群のひとつで、北部九州では数少ない市内唯一の装飾古墳として知られております。石室の開口は寛文十三年（1673）の落書きから江戸時代にさかのぼることが判っており、以後人の出入がかなりあったようですが、昭和46年、考古学の大好きな高校生たちによって色鮮やかな三角文が描かれた装飾古墳であることがわかり、昭和51年（1976）3月に国史跡に指定されました。

現在は地元の方々もめったに訪れることのないうっそうとした樹林に覆われていますが、木々の間からは古より中国大陸や朝鮮半島からさまざまな文物が行き交った玄界灘を望むことができます。古墳の本質的価値である装飾壁画を次世代へと適切に守り伝えてゆくことを第一とした上で、この眺望を活かした活用を念頭に置き、本整備計画を策定いたしました。今後は、宗像海人の活躍をしのび歴史ロマンを感じるビュースポットとして、また豊かな自然に包まれた憩いの場として多くの市民に親しまれる歴史公園づくりを進めてまいります。

最後に、今回の基本設計策定にあたり、市民ワークショップにご参加され貴重なご意見をいただきました神湊地区並びに田島地区コミュニティ運営協議会をはじめとする市内の各種団体の皆様、ご審議をいただきました宗像市史跡保存整備審議会委員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成24年5月

宗像市教育委員会

教育長 久芳 昭文

例 言

1. 本書は、平成 23 年度に宗像市教育委員会が策定した国史跡桜京古墳の整備に係る基本計画である。
2. 本基本計画策定にあたっては、以下の文献を指針とした。
文化庁記念物課監修『史跡整備のてびき ―保存と活用のために― I～IV』
株式会社 平成 18 年
3. 本基本計画策定にあたっては、考古学・保存科学・土木工学・造園学の各分野の専門家と教育関係・市民からなる「宗像市史跡保存整備審議会」を設置し、審議を行った。
4. 各種市民団体等の協力を得て、本基本計画に係る市民ワークショップを計 3 回、また、平成 24 年 4 月 15 日から 5 月 14 日にかけてパブリック・コメントを開催し、市民意見の集約を行うとともに、本基本計画への反映を検討した。
5. 本書に掲載された計画図やイメージ図等に示された園路・諸施設の規模や位置は、現段階で望ましいものを想定したものである。
6. 本書の編集は、宗像市郷土文化学習交流室の監修のもと、㈱ランドスケープ・コアが行った。

・本市史跡保存整備審議会委員・市民ワークショップ団体および関係者は以下のとおりである。

「宗像市史跡保存整備審議会」

会 長	西谷 正	九州大学名誉教授
副会長	杉本 正美	九州芸術工科大学名誉教授 神戸芸術工科大学名誉教授
委 員	林 重徳	佐賀大学名誉教授
委 員	佐野 千絵	東京文化財研究所保存修復科学センター保存科学研究室長
委 員	石山 勲	日本考古学協会員
委 員	鎌田 隆徳	自由ヶ丘南小学校教頭
委 員	矢田 公美	市民代表

「市民ワークショップ参加団体」

神湊地区コミュニティ
田島地区コミュニティ
むなかた歴史を学ぼう会
宗像歴史観光ボランティアの会
自由ヶ丘南小学校
水と緑の会
宗像観光協会
地域学芸員初級講座生

「指導・助言」

福岡県教育庁文化財保護課技術主査	入佐 友一朗
福岡県教育庁文化財保護課技術主査	吉田 東明
福津市教育委員会教育総務課	
古墳公園建設係主任	井浦 一
宗像市建設課主幹兼建設係長	牧 政幸
宗像市企画課世界遺産登録推進室長	岩佐 芳弘
宗像市企画課世界遺産登録推進主査	岡 崇

「事務局」

宗像市教育委員会教育長（H235.22 まで）	城月 カヨ子
宗像市教育委員会教育長（H235.23 から）	久芳 昭文
宗像市市民協働・環境部長	福崎 常喜
宗像市郷土文化学習交流室長	清水 比呂之
宗像市郷土文化学習交流室文化財係長	安部 裕久
宗像市郷土文化学習交流室主査	白木 英敏

・宗像市史跡保存整備審議会及び市民ワークショップの概要については下表にまとめた。

本基本計画策定に係る宗像市史跡保存整備審議会の概要

名称	開催日時	場所	内容
第 7 回宗像市史跡保存整備審議会	平成 23 年 9 月 7 日（水） 13 時 30 分より	宗像市役所 202 会議室	・基本計画審議 ・市民傍聴
第 8 回宗像市史跡保存整備審議会	平成 23 年 11 月 18 日（金） 13 時 30 分より	宗像市役所 103A 会議室	・基本計画審議 ・市民傍聴
第 9 回宗像市史跡保存整備審議会	平成 23 年 12 月 19 日（月） 13 時 30 分より	宗像市役所 103A 会議室	・基本計画審議 ・市民傍聴

本基本計画策定に係る市民ワークショップの概要

名称	開催日時	場所	内容
第 1 回国史跡桜京古墳整備市民ワークショップ	平成 23 年 8 月 9 日（火） 19 時より	宗像市保険福祉会館 社会館ゆうゆうプラザ	・史跡の概要説明 ・グループ分け ・自由意見をグループ発表
第 2 回国史跡桜京古墳整備市民ワークショップ	平成 23 年 9 月 21 日（水） 19 時より	宗像市保険福祉会館 社会館ゆうゆうプラザ	・史跡の将来像を検討 ・グループ発表
第 3 回国史跡桜京古墳整備市民ワークショップ	平成 23 年 10 月 25 日（火） 19 時より	宗像市保険福祉会館 社会館ゆうゆうプラザ	・整備将来図作成 ・グループ発表

目 次

I 章 地域の概要と関連諸条件

1	地域の概要	1
1)	宗像市の概要	・・・ 1
2)	地域の歴史概要	・・・ 2
3)	史跡の位置及び周辺状況	・・・ 5
2	関連諸条件	7
1)	関連計画の中での史跡整備の位置付け	・・・ 7
	ア) 第一次宗像市総合計画・基本構想	
	イ) 第一次宗像市総合計画・後期基本計画	
	ウ) 宗像市歴史・観光推進計画	
	エ) 郷土文化交流学習施設基本構想・基本計画	
2)	世界遺産登録活動との連携	・・・ 11
	ア) 構成資産の概要	
	イ) 国史跡津屋崎古墳群との連携	

II 章 基本計画

1	計画の目的と範囲	14
1)	計画の目的	・・・ 14
2)	計画の前提	・・・ 14
3)	計画の範囲	・・・ 15
2	史跡周辺地域の環境	16
1)	自然環境の概要	・・・ 16
	ア) 地形・水系・地質	
	イ) 植生と生物	
	ウ) 周辺森林の状況	
2)	社会環境の概要	・・・ 21
	ア) 人口	
	イ) 交通	
	ウ) 産業	
	エ) 観光	
	オ) 景観	
	カ) 周辺の土地利用	
3)	周辺遺跡の概要	・・・ 30
	ア) 牟田尻古墳群	
	イ) 浜宮貝塚	
	ウ) 神湊上方遺跡	
	エ) 新波止貝塚	
	オ) 神湊古墳群	
	カ) 津屋崎古墳群	

3	史跡の概要	33
1)	歴史的経緯	・・・ 33
2)	古墳の概要	・・・ 33
	ア) 古墳の概要	
	イ) 古墳の現状と課題	
	ウ) 周辺の地形条件と課題	
4	周辺環境及び史跡の特性と評価	42
1)	周辺環境の特性と評価	・・・ 42
	ア) 自然環境についての特性と評価	
	イ) 社会環境についての特性と評価	
	ウ) 関連諸計画を含めた複合的な特性と評価	
2)	史跡の特性と評価	・・・ 44
	ア) 史跡及び周辺地域の歴史的特性と評価	
	イ) 史跡の保存と公開から見た特性と評価	
5	市民意見	47
6	理念と方針	50
1)	基本理念	・・・ 50
2)	基本方針	・・・ 51
	ア) 保存方針	
	イ) 活用方針	
7	整備基本計画	54
1)	整備の前提と全体計画	・・・ 54
2)	石室、壁画の保存に関する計画	・・・ 56
3)	墳丘の保存、修復、地形造成に関する計画	・・・ 59
4)	ゾーニング、動線・園路計画	・・・ 63
5)	管理施設及び便益施設に関する計画	・・・ 65
6)	周辺環境保全計画	・・・ 68
7)	周辺古墳群との広域的保護計画	・・・ 72
8)	公開、活用計画	・・・ 72
9)	管理・運営計画	・・・ 75
8	完成予想図	76
1)	基本計画図	
2)	完成予想図	
9	事業計画	80